



MOROZOFF View

第77期 報告書

平成18年2月1日～平成19年1月31日



証券コード:2217

ロマンのあるスイート

1931年、神戸トアロードのチョコレートショップから出発したモロゾフは、おかげさまで、今期創業75周年を迎えました。

「すべてはおお客様の笑顔のために」。

これからも、私たちは一流の美味しさを追求してまいります。



株主の皆様へ

Morozoff
View

企業価値の向上と高効率経営の達成を目指します。

株主の皆様には、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。当社第77期の業績をご報告するにあたり、一言ごあいさつ申し上げます。

菓子業界におきましては、個人消費の回復というフォローの風が吹きましたが、限られたパイを巡って、企業間競争はより激しくなっております。加えて、食品の安全、安心に対する関心がますます高まり、一旦お客様からの信頼を失墜すれば企業存亡にかかわる事態にまで発展する非常に厳しい状況になってまいりました。

このような状況のもとで、当社はお菓子を通して心豊かな生活をお届けすることを基本姿勢とし、商品の開発・改善と新たな業態・ブランドの開発により販売力の強化に取り組むとともに、「すべてはおお客様の笑顔のために」を基本とし、安全、安心かつ高品質な商品をお客様に提供し続けるお客様第一主義の徹底に注力いたしました。

新業態・新チャネルの開発展開の加速による売上・利益の確保、お客様第一主義の徹底によるブランド品位の向上、商品品質、サービス品質の安定向上による安全、安心の確保を通じ収益力の向上を図り、さらに、環境への配慮、IRへの積極的取り組みによって企業価値の向上と高効率経営の達成を目指します。

今後も数値計画の必達はもちろんのこと、中長期的な経営方針である「持続的成長と構造改革の加速による高効率経営の達成」の実現に向け全社一丸となり邁進していく予定です。当期は当社創業75周年を飾るに相応しい業績となりました。次の100周年に向けて、今後とも着実な収益改善を図り、企業体質の強化に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成19年4月

取締役社長

川喜多 佑一



営業概況



当期は、イベント商品の強化、CS(お客様満足)活動の全社展開等による既存店の着実な売上獲得、「チョコレートのモロゾフ」再構築への取り組み、新たなお客様ニーズに対応した新商品・新業態の積極的展開、販売拠点の拡充等に努めました。その結果、売上高合計は25,979百万円(前期比4.5%増)と大幅な増収を達成いたしました。世界的な素材価格の高騰による原材料費の上昇等を受け、売上原価は高止まりとなりましたが、大幅な増収に加え、賃金制度の是正等の人事制度の改革、事業所統合、生産体制再構築に伴う業務の効率化等の効果により、経常利益は654百万円(前期比89.7%増)と大幅な増益を達成することができました。こうした全社一丸となった業績改善への不断の努力が結実し、創業75周年を増収増益で飾ることができました。

■菓子部門の概況

干菓子につきましては、バレンタインなどのイベント商戦およびチョコレート商品の好調、デイリーユース向け商品の積極的展開等により前年を上回る状況で推移しました。また、洋生菓子につきましても、半生菓子の売上続伸、デンマーク産の濃厚でクリーミーなチーズ「ハバティ」を使用した「デンマーククリームチーズケーキ」のキャンペーンをはじめとした様々なキャンペーン展開、「桃のカスタードプリン」、「焼き芋プリン」等の季節感を強調した新商品の積極的投入により、総じて好調に推移しました。その結果、菓子売上高は24,163百万円(前期比5.0%増)となりました。



■喫茶・レストラン部門の概況

店舗の改装、メニュー再編、集客イベントの開催等により売上拡大を図りましたが、不採算店の退店に伴う売上減少もあり、喫茶・レストラン売上高は1,815百万円(前期比1.9%減)となりました。



3つのMで、持続的成長と高効率経営を実現 中期経営計画「プロジェクトM」

第76期(2006年1月期)～第78期(2008年1月期)において中期経営計画を実行しております。



経営戦略テーマ

- 1 新業態、新チャネルの開発展開の加速による売上、利益の確保
- 2 商品品質、サービス品質の安定向上による安全安心の確保
- 3 顧客第一主義の徹底によるブランド品位の向上
- 4 環境への配慮、IRの積極的取組による企業価値の向上

「プロジェクトM」の進捗につきましては、初年度にあたる前期に引き続き当期も順調に推移いたしました。最終年度の数値計画は前2年度の増収傾向を反映し、当初計画から売上高を8億円増加させておりますが、この数値につきましては、充分達成可能と見込んでおります。

	2006年1月期実績	2007年1月期実績	2008年1月期目標
売上高(百万円)	24,866	25,979	26,200
営業利益(百万円)	349	633	700
ROE(%)	1.6	2.4	6.0

TOPICS 1

モロゾフの原点、チョコレートがよりおいしく、
香り高くなりました。

当社は、企業テーマ「ロマンのあるスイート」のもと、お客様に喜んでいただける商品を提供すべく、より質の高い新商品の開発や主力商品の改良、品質の維持改善に取り組んでおります。当期は、干菓子においては、当社の原点ともいべきチョコレート商品の上質化を目指し、伝統の技術を駆使しつつ、多様な製品に対応できる生産システムの導入を行い、創業75周年を機に、代表商品である「プレミアムチョコレートセレクション」に、10年振りに大幅な改善を加えました。また、チョコレート本来のおいしさをお選びいただける「チョコレートショップ」において、各種製品の品質改善を図りました。これからも「チョコレートのモロゾフ」として最高のおいしさをお届けしてまいります。

NEW プレミアムチョコレートセレクション

香ばしいナッツを使ったチョコレート、洋酒の芳醇な香りを生かしたガナッシュやトリュフなどを詰め合えました。パッケージ缶は、海と山に囲まれた美しい神戸の街並みを表現しました。



NEW ショコラテリア

カカオ含有分の違いによる、香り、酸味、苦味、コクを楽しむミルクからダークまで4種類のピュアチョコレート。繊細なカカオの風味と口どけが際立つよう薄いタブレットに仕上げました。



TOPICS 2

おかげさまで、創業75周年。
記念商品を発売しました。

■ショコラテリア75thスペシャルリテ

アマゾン川の上流・ボリビアの湿地帯に浮かぶ未開の島に、数百年もの間、自然のままに育った野生のカカオが発見されました。そのカカオを高い技術により、非常に繊細で調和のとれた、長く余韻が続くチョコレートに仕上げました。75周年記念にふさわしい、希少性の高いおいしいピュアチョコレートを数量限定でお届けしました。

■オリジナルデザイン商品

カスタードプリン、デンマーククリームチーズケーキなど洋生菓子の基本商品に75周年オリジナルデザインを施して販売しました。



TOPICS 3

CS(お客様満足)活動を全社をあげて推進。

「すべてはお客様の笑顔のために」を合言葉に、CS向上のための活動を推進しています。エンドユーザーであるお客様はもちろん、お客様の声が届いた百貨店様などからも、当社の接客に対して高い評価を得ることができました。

■CSセンターオープン

2006年8月8日(当社創立記念日)、神戸御影の旧本社をリニューアルし、「CSセンター」として発足させました。接客技術を実習形式で学べる店舗仕様の研修施設やモロゾフの歴史を学べる資料展示室などの社員用施設を設置しています。

■CS表彰制度を実施

より素晴らしい接客を目指し、販売員が切磋琢磨できるよう、全国店舗を対象にCS表彰制度などを実施しております。

(上)ロールプレイングルーム
(下)資料展示室



●売上高



●経常利益



●純利益



■貸借対照表

(単位:千円)

科目	期別	当期	前期
		(平成19年1月31日現在)	(平成18年1月31日現在)
	金額	金額	金額
(資産の部)			
流動資産		7,316,012	6,927,240
現金及び預金		484,480	445,866
売掛金		3,730,231	3,589,638
有価証券		400,226	400,032
棚卸資産		2,360,158	2,305,902
繰延税金資産		218,257	65,983
その他の資産		137,457	155,817
貸倒引当金		△14,800	△36,000
固定資産		12,261,017	13,639,909
有形固定資産		8,107,807	8,861,262
無形固定資産		136,942	129,033
投資その他の資産		4,016,267	4,649,613
資産合計		19,577,030	20,567,150
(負債の部)			
流動負債		6,241,400	6,711,708
支払手形		1,889,056	2,248,118
買掛金		913,219	975,026
短期借入金		1,975,000	1,975,000
未払法人税等		118,152	145,626
その他の負債		1,345,972	1,367,936
固定負債		1,664,799	1,998,679
繰延税金負債		692,036	993,140
再評価に係る繰延税金負債		752,426	793,021
退職給付引当金		51,750	50,871
その他		168,586	161,646
負債合計		7,906,199	8,710,387
(資本の部)			
資本金		-	3,737,467
資本剰余金		-	3,918,352
利益剰余金		-	3,216,084
土地再評価差額金		-	264,099
株式等評価差額金		-	777,579
自己株式		-	△56,821
資本合計		-	11,856,762
負債・資本合計		-	20,567,150
(純資産の部)			
株主資本		10,955,168	-
資本金		3,737,467	-
資本剰余金		3,918,352	-
利益剰余金		3,370,725	-
自己株式		△71,377	-
評価・換算差額等		715,661	-
その他有価証券評価差額金		467,404	-
土地再評価差額金		248,257	-
純資産合計		11,670,830	-
負債・純資産合計		19,577,030	-

■損益計算書

(単位:千円)

科目	期別	当期	前期
		(平成18年2月1日から平成19年1月31日まで)	(平成17年2月1日から平成18年1月31日まで)
	金額	金額	金額
売上高		25,979,483	24,866,998
① 売上原価		13,966,625	13,197,719
売上総利益		12,012,857	11,669,279
販売費及び一般管理費		11,379,205	11,320,278
営業利益		633,652	349,000
営業外収益		159,910	120,099
営業外費用		139,514	124,304
② 経常利益		654,048	344,795
特別利益		90,611	8,846
③ 特別損失		681,183	99,853
税引前当期純利益		63,477	253,788
法人税・住民税及び事業税		61,822	62,473
法人税等調整額		△282,846	2
当期純利益		284,501	191,312

POINT

① 売上原価

世界的な素材価格の高騰による原材料費の上昇や設備投資に伴う償却負担の増加などにより、売上原価率は53.8% (前期比0.7ポイント増)と高止まりとなりました。

② 経常利益

大幅な増収に加え、賃金制度の是正等の人事制度改革、事業所統合、生産体制再構築に伴う開発、生産、販売の連携強化による業務の効率化等の効果により、経常利益は654百万円 (前期比89.7%増)となりました。

③ 特別損失

固定資産の減損に係る会計基準適用に伴う減損損失526百万円の計上などにより、特別損失は681百万円となりました。

■株主資本等変動計算書

(平成18年2月1日から平成19年1月31日まで)

(単位:千円)

	株主資本				評価・換算差額等			純資産合計	
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金		評価・換算差額等合計
平成18年1月31日残高	3,737,467	3,918,352	3,216,084	△56,821	10,815,083	777,579	264,099	1,041,678	11,856,762
事業年度中の変動額									
自己株式の取得				△14,555	△14,555				△14,555
剰余金の配当			△145,702		△145,702				△145,702
当期純利益			284,501		284,501				284,501
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額)			15,841		15,841	△310,175	△15,841	△326,016	△310,175
事業年度中の変動額合計			154,640	△14,555	140,085	△310,175	△15,841	△326,016	△185,931
平成19年1月31日残高	3,737,467	3,918,352	3,370,725	△71,377	10,955,168	467,404	248,257	715,661	11,670,830

■ 会社概要 (平成19年1月31日現在)

商号	モロゾフ株式会社 Morozoff Limited
設立	昭和6年8月8日
従業員数	660名
上場証券取引所	大阪市場第1部・東京市場第1部
事業所	営業所 本社(神戸)CSセンター併設・六甲アイランドオフィス(神戸)・ 関西支店(神戸)・東京支店・名古屋支店・福岡支店・ 北海道営業所(札幌)・仙台営業所 工場 神戸御影工場・西神工場(神戸)・ 六甲アイランド工場(神戸)・船橋工場(千葉県)・ 福岡工場・札幌工場・仙台工場

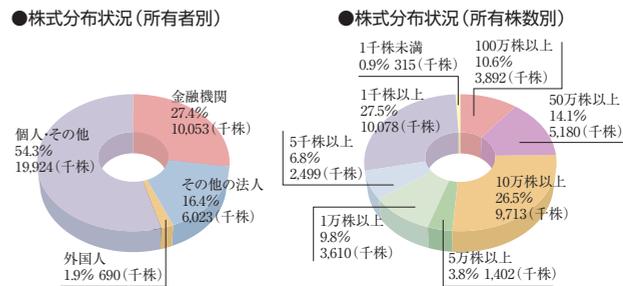
■ 役員 (平成19年4月26日現在)

代表取締役社長(マーケティングセンター長)	川喜多 佑一
代表取締役副社長	松村 有芳
常務取締役(生産本部長)	齊藤 進
常務取締役(経営企画グループ長)	伊庭 哲雄
取締役(経理グループ長)	尾崎 史朗
取締役(営業本部長)	川窪 一明
取締役(営業本部副本部長兼東京支店長)	賀集 輝昭
常勤監査役	渡邊 一司
常勤監査役	山本 茂伸
監査役	久保 昭
監査役	高橋 純子

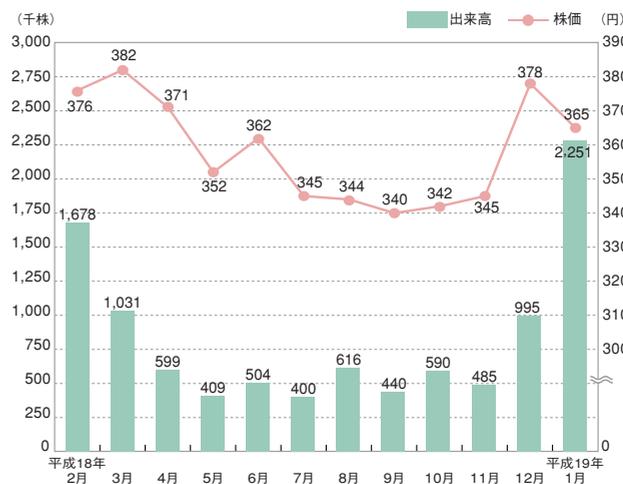
(注) 監査役久保 昭および高橋純子の両氏は社外監査役であります。

■ 株式の状況 (平成19年1月31日現在)

発行可能株式の総数	120,000,000株
発行済株式の総数	36,692,267株
株主数	9,823名
うち単元株主数	7,813名



■ 株価・出来高



(注) 株価・出来高は東京証券取引所によるものです。また、株価は月末終値を記載しております。

長期保有個人株主の皆様へ

当社は、おかげさまで平成18年8月に創業75周年を迎えました。当社を長年支えてくださった株主の皆様への感謝の印として、記念品をお送り申し上げます。今後とも、一層のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



- ◎対象株主様
平成19年1月31日現在で、1,000株以上保有、3年以上継続保有の個人株主様
- ◎記念品
平成18年プリストラップキャンペーンで使用した携帯ストラップの株主様オリジナル仕様
- ◎記念品送付時期
平成19年4月下旬
※配達の日数等によりお届けは5月になる場合があります。

株主に対する特典

1,000株毎に1冊(10枚綴)の割合で優待券を発行いたします。

- ◎優待券は、毎年1月31日および7月31日現在で、1,000株以上ご所有の株主様(株主名簿および実質株主名簿に記載または記録された株主様)に対して発行いたします。
- ◎優待券は、1月31日割当分は4月下旬に、7月31日割当分は10月上旬にお送りいたします。

- ◎当社の指定店(平成19年4月1日現在55店舗)および通信販売にて優待券1枚につき税込1,050円(本体価格1,000円)またはそれ未満を単位として現金でお買い上げの際、その商品および喫茶代金の20%を割引いたします。
※指定店等の詳細は、優待券または当社ホームページをご覧ください。

単元未満株式の買増請求および買取請求について

単元未満株式(1,000株未満の株式)をご所有の株主様は、その単元未満株式について、1,000株になるまでの不足株式数を当社から購入(買増請求)することができます。また、単元未満株式をご所有の株主様は、その単元未満株式を当社に売却(買取請求)することもできます。

お手続きについては、いずれも三菱UFJ信託銀行で承りますので、ご希望の株主様はお申し出ください。なお、保管振替制度をご利用の場合は、お取引の証券会社にお問い合わせください。

株主メモ

事業年度 2月1日から翌年1月31日まで
定時株主総会 4月中
基準日 定時株主総会・期末配当 1月31日
中間配当 7月31日

公告方法 電子公告 <http://www.morozoff.co.jp/koukoku/>
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告
ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

単元株式数 1,000株

株主名簿管理人 〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社

同事務取扱場所 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
(お問合せ先) 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
☎(通話料無料)0120-094-777

(注)平成19年5月7日付で次の住所に移転の予定です。
〒530-0004 大阪市北区堂島浜一丁目1番5号
なお、電話番号に変更はありません。

同取次所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国本支店

- 株式関係のお手続き用紙のご請求は、次の三菱UFJ信託銀行の電話
およびインターネットでも24時間承っております。
☎(通話料無料) 0120-244-479(本店証券代行部)
0120-684-479(大阪証券代行部)
インターネットホームページ <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

モロゾフ株式会社

www.morozoff.co.jp



六甲アイランドオフィス
〒658-0033 神戸市東灘区向洋町西五丁目3番地 ☎078-822-5000(代表)
(登記上の本社 神戸市東灘区御影本町六丁目11番19号)